

市民にゆき渡るワクチン接種体制 早期に

No. 258 2021年5月2日 日本共産党札幌市議団 事務局 TEL 211-3221 / fax 218-5124

ワクチン接種のスケジュール 16歳以上64歳(91万人)は8月以降

接種時期	ワクチン供給量と接種の見通し	接種の手続き
3日の週末まで	9万回分(45000人分)が配分見通し 高齢者施設の入所者5.6万人と同従事者3万人	10日から後期高齢者に「接種券」と医療機関リストを発送 /19日から予約受付を開始し、 医療機関に直接電話よくするか、 集団接種会場(エルプラザかパークホテル)を希望する 場合は専用の予約センターか インターネットで。
10、17日の週	約17万回分(85000人分)配分見通し 高齢者施設関連の対象者の一部	
24日から	ワクチン供給量に応じた接種 約27万人(75歳以上)に限定	
6月以降	ワクチン供給量に応じた接種 65~74歳(27万)は75歳以上の接種状況次第	
8月以降	供給量は未定 91万人(16歳以上64歳)	

札幌市の資料や報道から作成

供給見通しの情報なく、接種計画たたず。不安増大

市内の高齢者54万人に必要なワクチンは約1108箱(ファイザー社製)ですが、4月に市に届いたのはわずか2箱で必要数の0.18%。高齢者や一般の市民は、「供給量に応じた接種」「供給量は未定」とされ、年内の接種完了は無理とみる関係者もいます。(1箱で接種975回分/3週間に2回接種することが必要)

ワクチン接種急ぎ並行してPCR検査強化を

4月23日市
コロナ調査特別委
さとう綾議員

政府は、ワクチン供給の見通しを問われても、製薬会社との秘密契約であると明らかにしようとしません。しかし供給スケジュールを示さなければ現場は大混乱です。

さとう議員は、ワクチン接種を滞りなく進めるためにも、感染を拡大させないことが大事だと指摘。高齢者について、福祉施設や保育士、学校の教職員、救急現場の職員などエッセンシャルワーカーへの接種を早めるように提案するとともに、ワクチン接種が遅れる下でも、PCR検査を定期的に、大規模に実施することが、感染拡大を抑え、医療現場の逼迫した状況を改善することになると検査強化を求めました。

◆住民票所在地以外の接種可能。接種急ぐには医療機関への支援が必要◆

佐藤議員は、単身赴任や長期の入院、ドメスティックバイオレンス被害者など、住民票所在地以外で生活する人についての取り扱いを確認。市担当者は、「現状事前接種を可能」としましたが、ホームレスについては、国から具体的な取り扱いが示されていないと答弁。佐藤議員は、受けられないことがあってはならないと指摘。

さらに、ワクチン接種に協力する市内480カ所の医療機関について、通常診療、発熱外来、感染症対応に加えて、ワクチン接種まで担うことになるとして、「接種自体も人員を必要、かなりの負担がある」と医療機関への支援を要求。市担当者は「他市町村の状況も踏まえながら慎重に検討したい」と答弁しました。

このニュースを地域民報への転載や各支部への配布など、積極的に活用してください。